

令和7年度 水稻の生育状況及び栽培管理のポイント No.3

大船渡農業改良普及センター

電話：0192-27-9918 FAX：0192-27-9936

1 水稻生育診断予察ほの生育状況(7月10日現在)

- ・ 昨年と比較して、草丈は並からやや低く、茎数は並からやや少ない。

表1 調査結果(7月10日生育調査)

項目		銀河のしずく	ひとめぼれ
草丈 (cm)	本年	60.2	58.8
	前年	64.0	57.5
	前年との差	-3.8	1.3
茎数 (本/m ²)	本年	163	337
	前年	369	348
	前年比(%)	44	97
葉齢 (葉)	本年	10.1	10.6
	前年	10.2	10.3
	前年との差	-0.1	0.3



銀河のしずく



ひとめぼれ

2 今後の栽培管理

〈斑点米カメムシ類防除〉

- ・ 一部の水田でカメムシが散見されています。
- ・ 出穂期2週間前までにカメムシの発生源となる畦畔や本田の雑草の刈り取りを行いましょう。
- ・ 今年度はカメムシが多発する恐れがあるため、薬剤防除は2回実施をご検討ください。



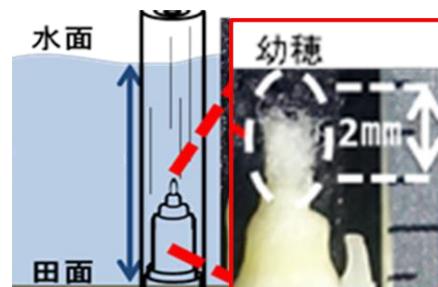
水田内の雑草に集まる斑点米カメムシ類(7月10日陸前高田市で撮影)

〈水管理〉

- ・ 中干し終了後は間断かんがいとし、根を徐々に水に慣らしましょう。中干し後、急に深水にすると根が酸欠になり、生育不良の原因となります。
- ・ 幼穂形成期（※）は水深4～6cmを基本、減数分裂期（※）は水深10cm以上を基本とします。
- ・ 幼穂形成期以降も17℃以下の低温の心配がない場合は、出穂まで間断かんがいとしましょう。

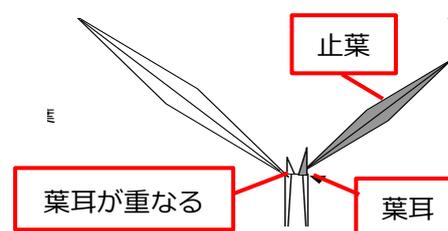
「幼穂形成期」

- ・ 穂の基となる部分（幼穂）を作る時期
- ・ 出穂する約20～25日前
- ・ 幼穂が1～2mmとなる頃
- ・ 水田の数ヵ所から株を選び、株の中で一番長い茎を抜き取って幼穂を調べましょう。



「減数分裂期」

- ・ 花粉が作られる時期
- ・ 出穂する約10～15日前
- ・ 止葉の付け根が前の葉の付け根と重なる時期
- ・ 水田の数ヵ所から株を選び、止葉の付け根の位置を確認しましょう。



★★いわてアグリベンチャーネットメールサービス会員募集中(情報料無料)★★

農作物技術情報や農村地域の情報を幅広く提供する岩手県公式サイト「いわてアグリベンチャーネット」のメールサービス会員を募集します。登録方法は以下のホームページをご確認ください。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/maillinglist.html>